



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和 4年 4月28日

発行者 園長 末永 寿宣

5月号

「10の姿」を園内学習や遊びのヒントに

～幼児期にどんな力を育むか～

園長 末永 寿宣

「10の姿」とは、文部科学省が、1歳児から小学校入学前の6歳児までに養っておきたい姿を10の項目をあげて示した内容です。これは、幼稚園だけでなく、保育園、こども園共通の指針とされています。

本園では、「10の姿」を小学校入学までに身に付けるべきものではなく、小学校に入学したあとも継続して育てていくものと捉え、発達段階に応じて、日々の教育計画を立てています。ホールに「10の姿」の詳しい説明と具体的な内容を子どもたちの写真とともに掲示してありますので、ご来園の際に是非ご覧ください。

「10の姿」とは

- ①健康な心と身体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

これらは、幼稚園の先生が、厳しく教えるようなものではありません。幼稚園の活動の中で自然に身に付けていくものです。協同性や道徳性・規範意識は、友だちと遊ぶ中で協力し合い、互いを思いやることで習得していきます。

それでは、当園が実践している日常的な活動の一端を4月の保育からご紹介します。

3歳 もも組 はじめての園生活、お家の方と離れて、先生や友だちとの生活が始まりました。自分でやろうとする姿がとてもしらしいです。幼稚園の生活にも慣れてきて、好きな遊びを選んで楽しんでいます。身支度の仕方も少しずつ覚えてきました。1つの支度を終わると「さあ遊ぼう」と他の支度を忘れてしまうかわいい姿もまだありますが、声をかけると、「そうだった」と思い出し、頑張って取り組んでいます。

絵本の部屋では、それぞれが気に入った絵本や図鑑を見ています。戸外では、水の感触を味わうことをねらいとして、「手のプール」を体験しました。水が苦手だった子どもも周りの様子を見て、手を水に入れてみると「冷たくて気持ちいいね」「水はつかめないね」と言っていました。年中たんぼぼさんも「なつかしい！」と寄ってきて、一緒に水の感触を楽しみました。



4歳 たんぽぽ組

友だちと関わりながら、自信をもって生活できるようになっています。子どもが感じている生き物への愛着や親しみといった心の動きを汲み取り、見守りながら支えています。



友だちと協力して山やトンネルをつくったり、大きな穴を掘って水がたまるようにしたりしていました。水がうまく流れると「やったー！」とみんなで喜んでいました。

小さな苺ができているのを発見してお水をあげたり、草むらでテントウムシを見つけて嬉しそうに観察したりなど、春の生き物や草花に興味をもっています。

5歳 すみれ組

すみれ組では、子どもたちが会話でやりとりをし、自分とは違う意見を持つ子の話を最後まで聞き、スムーズに話し合いを進めることを目指しています。子どもの「言葉による伝え合い」を育むために、子どもの意見を尊重し、その思いを丁寧に汲み取る関わりを大切にしています。



天気の良い日は、園庭でお弁当を食べます。こいのぼりを見ながら、「こいのぼりの家族かな」「気持ちよさそうに泳いでいるね」などと思ったことを伝え合っていました。

遊びに使うマットを友だちと力を合わせて自分たちで出し入れしています。どんな風に運んだらスムーズに運べるか、友だちとの息の合わせ方などを考えながら運び、遊びの場を作っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、今後も、職員の英知を結集し、協力し合い、励まし合って「子どもファースト」で取り組みを進めてまいります。

引き続き、保護者・地域の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。